

マスクの製作

(衣生活・衣服のはたらき,衣服の手入れ,生活に役立つものの製作)

衣服のはたらきの中に、※「体を衛生的・清潔に保つ」「体を外敵から守る」ということがあります。マスクを着用することで、花粉やウイルス等が体内に入ることを防ぐ、細菌やウイルス等を他の人へ移さないという効果があります。

〈教科書P170~P171、P176~P183、P190~P197〉

○マスク製作の目的

- ・裁縫技能を身につける。 ・衣服(布製品)の手入れの仕方を覚え、実践する。
- ・給食や調理実習で使用する。

○製作時間 1~2時間 ○用具 ものさし、チャコペン、まち針、縫い針、ゴム通し、糸切りばさみ

○材料(5/7配布)→柄(水玉)布:綿100% 1枚 さらし:綿100%1枚 ゴム紐1本 (各自用意)→糸

○製作の手順 ①別紙(手作りマスクⅡ)参照 ・2と3(AとBの線はミシン縫いでもよい)

・本返し縫い又は半返し縫いで縫うと書かれているところは、
半返し縫いにする。

②青木中学校ホームページ掲載の動画参照

*縫い方は、小学校の家庭科の教科書を見て復習して下さい。インターネットの動画でも調べられます
(例)キーワード「半返し縫い 動画」

家で過ごす時間が沢山あるので、自分や家族の生活に役立つもの(部屋の整理整頓グッズ等)を手作りしてみてください。

●完成したら、洗濯(手洗い)をする。

洗濯の仕方は、裏面参照

【いろいろな衣服の手入れや洗濯の方法を教科書をよく読んで、覚え、実践しましょう】

◎提出について (洗濯をしてから提出になります)

①さらしの部分に氏名を油性ペンで書いて、②配布されたビニール袋に入れて提出する。ビニール袋にも油性ペンで大きく学年・組・氏名を書くこと(プリント裏面資料参照)

☆提出日 1年生:5/15(金) 2年生:5/14(木)

3年生:5/21(木) 早く仕上がった人は5/14(金)に持ってきて下さい

振り返り

年 組 番氏名

自己評価	・しるしつけが指定の寸法で正しくできた ・半返し縫いが3~5mmの縫い目でできた ・自分の顔にピッタリサイズにゴム通しができた ・指示のとおり洗濯することができた	A・B・C A・B・C A・B・C A・B・C	*Cがついたのはなぜですか？
*製作をして、分かったこと・気がついたこと・感じたこと等を記述しましょう。			
*生活の衛生管理をするために役立つ(布でできている)ものは、他にどんなものがありますか。			

※返却された自宅学習のプリント類は、自分でファイルを用意して保管すること。

マスクの洗濯の仕方

1 水2Lに洗剤2mlを溶かす



2 マスクを洗剤液に入れ、

10分つけ置き



軽く押して洗う



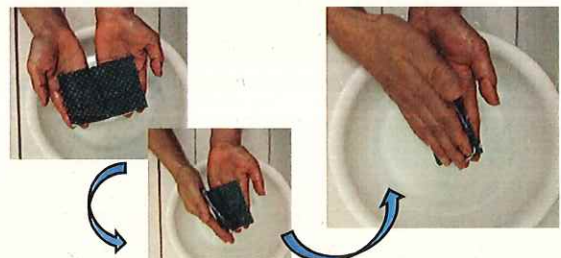
3 すすぐ(振り洗い)

水を2～3回取りかえる



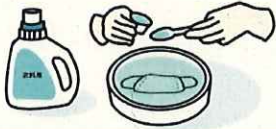
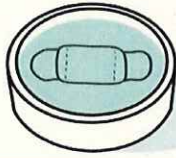
4 しぼる

手のひらに入る大きさにたたんで、しわにならないように両手を押し合わせる。





布マスクの洗い方

1 衣料用洗剤を水に溶かす ※水2Lに対して小さいスプーン1/2 	2 10分つけ置き 
3 軽く押して洗う ※繊維を痛めるためもみ洗いはNG 	4 水ですすぎ水気をとって陰干し 

出典:経済産業省 画像製作:yahoo!JAPAN(経済産業省の動画を元に作成)

<https://hazard.yahoo.co.jp/article/20200207#QA>

提出について

洗濯をしてから、名前を書く。

右図のように記名をして、袋に入れて提出する。

- ・さらしの部分に氏名を書く
- ・ビニール袋に学年・組・氏名を書く

